

2018年6月13日

SDS試験法の開発が地盤工学会賞(技術開発賞)を受賞 ～土質判定の困難さを克服する新技術、低コストかつ高い汎用性などが評価～

戸建住宅の地盤調査・建物検査を手掛けるジャパンホームシールド株式会社（所在地：東京都墨田区、代表取締役社長：斉藤武司）が開発に携わったスクリードライバーサウンディング試験（以下、SDS試験）が、公益社団法人地盤工学会の地盤工学会賞(技術開発賞)を受賞しました。

公益社団法人地盤工学会は、1949年の設立以降、地盤工学の進歩及び地盤工学に関わる技術者の素養向上を図り、学術・科学技術および文化の振興と社会の発展に寄与することを目的とした公益事業を展開しています。

「地盤工学会賞」は、同会の表彰関連事業で本年度で52回目を迎えます。今回、当社が受賞した技術開発賞は、地盤工学における新技術開発およびその実用化等で、顕著な貢献をしたと認められる業績を上げた個人または団体を対象として表彰するものです。



＜授与式出席者：写真左側より末政直晃（東京都市大学）、大和眞一（ジャパンホームシールド（株））、山添重博*（日東精工（株））、田中剛（東京都市大学）、敬称略＞ *代理出席

SDS試験は住宅地盤の沈下事故ゼロを目指して開発されました。従来の測定データに加え、回転トルク値などのデータを総合して分析することで、より正確な土質判断ができる次世代の地盤調査方法です。小型の調査機を用いるため、大がかりな試験機を必要とするボーリング調査に匹敵する高精度ながら、コストを抑えられるのも特長です。2010年の提供開始以来、認知度の高まりとともに順調に受注を伸ばし、同試験法を用いた地盤調査数は累計30万棟を突破しました。また、優良な住宅等の工法や部材・材料の認定を行う一般財団法人ベターリビングより「建設技術審査証明」を取得するなど、中立の第三者機関から高い性能が認められています。

今回、SDS試験は、「現在普及しているスウェーデン式サウンディング試験の問題点である土質判定の困難さを克服する技術」であること、「調査にかかるコストを抑え、住宅がかかわる地盤の問題を解決する方法の一つとして高い汎用性を持つこと」などが高く評価され同賞を受賞することとなりました。

ジャパンホームシールドは今後も、優れた地盤調査・対策技術を通じて、安全・安心な住まいづくりに貢献していきます。

本件に関するお問い合わせ先

ジャパンホームシールド株式会社（<http://www.j-shield.co.jp/>）

本社：東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 17F

報道関係の方から：広報マーケティング部 児新（コニイ） TEL. 03-5624-1545

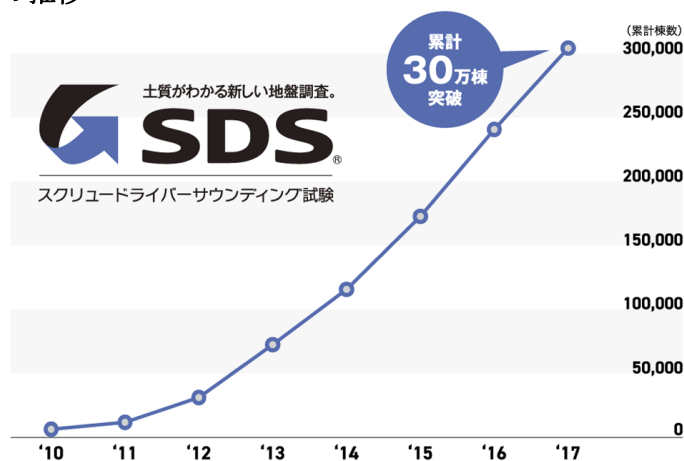
※このリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお届けし、ジャパンホームシールド（URL: <http://www.j-shield.co.jp/>）のホームページで発表しています。
＜ジャパンホームシールドはLIXILグループの一員です＞

<参考資料>

■地盤工学会賞（技術開発賞）受賞の概要

- 受賞業績名： 「トルク計測を加えた新しいスウェーデン式試験法（SDS 試験法）の開発」
- 受賞者名： 末政直晃（東京都市大学）、田中剛（東京都市大学）、足立由紀夫（日東精工株式会社）、大和真一（ジャパンホームシールド株式会社）
- 授賞理由： 本技術は、戸建住宅用地盤調査法として普及しているスウェーデン式サウンディング試験法に関して、その問題点である土質判定の困難さを克服する方法として開発されたものである。開発に際して、サンプラーを併用するのではなく、トルク計測を追加することで問題を解決している。住宅施工前の地盤調査に対して有用性が高く、コストを抑えて住宅に関わる地盤の問題を解決する方法の一つとして汎用性があると考えられることから、本研究は技術開発賞としてふさわしいと認められた。

■SDS 試験調査棟数の推移



■SDS 試験の歩み

2006年6月	東京都市大学、日東精工(株)と共同研究を開始
2010年10月	SDS 試験のサービス提供を開始
2011年2月	「SDS 試験装置」で（一財）ベターリビングより「建築技術審査証明」取得（BL 審査証明-008）
2013年7月	ニュージーランド・オークランド大学と共同研究を開始
2013年12月	「SDS 試験による地盤調査結果の活用技術」で（一財）ベターリビングより「建設技術審査証明」取得（BL 審査証明-011）
2016年5月	タイ・カセサート大学と共同研究を開始
2017年2月	「SDS 試験を用いた平板載荷試験結果による q_t の推定方法」で（一財）ベターリビングより「建設技術審査証明」取得（BL 審査証明-027）
2017年3月	マレーシア工科大学と共同研究を開始
2018年3月	SDS 試験調査実績 30 万棟突破